

おおまち

ボランティアニュース

発行 大町市社会福祉協議会内
大町市ボランティアセンター
長野県大町市大町1129
(東町 総合福祉センター内)
TEL (0261) 22-1501
FAX (0261) 22-7071
URL <http://www.omachishakyo.org/>

大地震!! その時は...

あわてず、すばやく
すばやく状況判断し、
知識と心構えが大切です

- ・まず我が身の安全
頭を守る。落下物や転倒物から
身を守る。
- ・すばやく火の始末を
火が出たらまず消火
- ・戸を開けて、出口の確保
窓の周辺から離れる
- ・あわてて外に飛び出さない
狭い路地、塀ぎわ(ブロック塀の
倒壊)、崖や川べりに近寄らない
- ・山崩れ、崖崩れに注意
避難は徒歩で、
持ち物は最少限に
正しい情報をつかむ
みんなで協力し、応急救護



地域ぐるみで考え学びましょう!!

活動報告

災害支援個人ボラ

美麻地区では、11月30日と12月11日に支援ボランティアが活動しました。

12月11日は、地元でお手伝いをと、美麻地区のボランティアが、雨

11月22日(土) 長野県北部を震源とする「神城断層地震」が発生しました。大町市も美麻地区を中心に家屋の損壊や宅地の地割れ、道路などへも大きな被害をもたらしました。突然の地震から一か月、様々な形で、復旧支援のボランティアのみなさんが動き出しています。



壊れた外壁の掘り出し作業

災害支援ボランティア活躍

お互いさまのまちづくり

神城断層地震被災地支援

の降る中、雪に埋もれた家の外壁を掘り出したり、使えなくなった家財の運搬を行いました。ボランティアを受け入れた方は、「家族だけではどうすることもできませんでした。



活動報告

災害支援団体ボラ

ボランティアグループ「ブルードーズ」の会員が、災害ボランティア登録をしたことがきっかけで、12月12日(金)、美麻地区社協事業の体験教室「ミニあそびり」の参加者に、地震の恐怖や不安・疲れを少しでも癒してもらえればと、アロマ体験をしていただきました。

参加者からは、「寒くなって、手足も冷えてくる。ほぐしてもらって体が温まって、うれしい」と会話もはじまって、傾聴も兼ねた活動になりました。



アロマ体験で心も体もホカホカ

美麻大塩にある「さくら」では、地震で被災された方々に「さくら」で湯づくりプロジェクトを行っています。「さくら」の施設を利用して、入浴・食事・お風呂をしながら地震の疲れを癒してと呼びかけています。食事は、持ち込みもOK。ミニキッチンや調理什器利用もOK。また、風タ

片付けてもらって、ホッとしました」との言葉をいただきました。まさに困った時は、お互いさまです。

災害ボラ相談窓口開設中

大町市社協では、災害ボランティア相談窓口を開設中です。家の片付けやゴミ出しなど、支援が必要な方は、お気軽にご相談ください。現在まで、11件の支援依頼があり、9件がボランティアの活動で終了しています。また、支援していただける災害支援ボランティアも募集しています。活動していただく時は、ボランティア活動保険天災タイプに加入していただきます。現在ボラティアセンターに、40人余りのボラティア登録があります。いずれも受け付け・問い合わせは、市総合福祉センター内大町市ボランティアセンターまで。
TEL 22-1501

義援金募集中!!

「神城断層地震義援金」今回の地震で被害に遭われた方々の支援のため、義援金の募集をしています。ご協力ください。

募金箱設置場所

市役所本庁 福祉課
市総合福祉センター
美麻総合福祉センター
八坂総合福祉センター
受付期間 平成27年3月31日まで



大町市 ボランティア交流研究集会 開催

神城断層地震から学ぶ

「支え合い・助け合う地域づくり」

「まさか、この地に、地震!?」と思った方も多かったのではないのでしょうか。

今回は、11月22日に発生した神城断層地震から、「支え合い・助け合う地域づくり」をテーマに、災害ボランティアに関する取り組み発表や講演を行います。

地域の助け合いの方法について、みなさんと考えてみたいと思います。どなたでも参加できます。大勢の方の参加をお待ちしています。要約筆記があります。

楽しいレクリエーション〈72〉

ペーパー豆まき

新聞紙を丸めては的めがけて投げる、変わり「鬼は外」ゲーム。思いきり投げられるので楽しさ増増です。

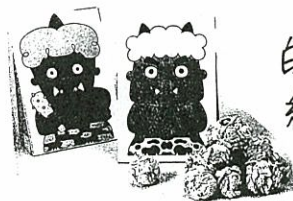
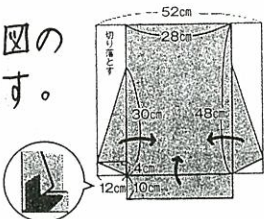
◎用意するもの

- ・1ページ分に切った新聞紙
- ・的用の段ボール
- ・新聞紙を置く台(箱やイス)

◎準備

・的を作る

段ボールを開き、図のように切り出します。矢印の3カ所を起こしてゴムテープで留めます。



的に赤鬼・青鬼の絵を書いて完成。

◎ゲームの進め方

- ・2チームに分け、的は2mくらい離して置きます。
- ・スタートの合図で新聞紙を丸めてボールを作ります。
- ・「鬼は外」と言いながら、丸めた新聞紙を的に向けて投げます。
- ・早く的に倒したチームの勝ちです。

今回購入した、シルバーカー、リクライニング車いす、貸出用車いすは、善意の寄付金を活用させていただきました。ありがとうございました。



前回の活動発表の様子

日時 平成27年1月31日(土)

午後1時～4時

受付 12時30分～

会場 サン・アルプス大町

2階 大会議室

(大町市文化会館隣)

内容

表彰

福祉啓発標語入選者表彰

活動発表

災害ボランティア等の取り組みについて

講演

「支え合い・助け合える地域づくり」

(仮称)

講師

特定非営利活動法人

地域交流センター

副代表理事 中橋徹也氏

参加費 無料

申し込み

1月23日(金)までに社協へ

TEL 22-1501 / FAX 22-7007

ご利用ください

総合福祉センターに

シルバーカー設置

大町・美麻・八坂の3カ所に

各センター内入口に、室内用シルバーカーを設置しました。必要な方は、ご利用ください。

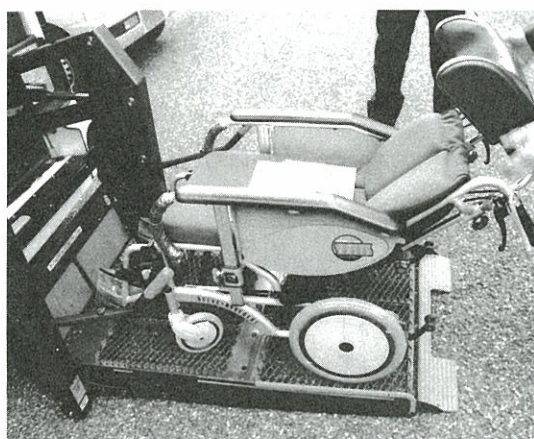
貸出用車いす

増えました

旅行等のお出掛けの際に、車いすをご利用ください。今まで台数に限りがあり、お貸しできなかったこともありました。今回台数を増やしましたので、気軽に声をかけてください。

申し込み・問い合わせ先

大町市社協 TEL 22-1501



購入したリクライニング車いす

リクライニング車いす購入

福祉輸送サービス時に使用

病院への通院や近隣への外出など、移動する際に車いすが必要な方に、負担なく利用できる、福祉輸送サービスを行っています。より安全に輸送サービスを行うために、リクライニング機能が有り、体への負担も少なく座位も安定する車いすを導入しました。

社協間でも協力して応援

大町市社協では、今回の地震で市内の支援のほか、白馬村へは、11月25日～6日間、小谷村には12月5日～2日間、社協職員が「災害ボランティアセンター」の運営支援に入りました。これは、平成25年に締結された「災害時相互応援協定」

に基づき、社協間のネットワークを生かし、災害発生時に職員派遣や災害ボランティアセンター運営支援を行うもので、大規模災害時に被災地社協だけでは対応が困難な場合に、互いに協力して応援するものです。